



近畿地方整備局 浪速国道事務所	配布日時 平成28年6月9日(木) 14時00分
資料配布	

件名	国道26号(現道)の安全性が向上! <small>だいはんわ おおたに ひらい</small> ～第二阪和国道(大谷ランプ～平井ランプ)開通後の整備効果～
----	---

概要	<p>平成27年9月12日(土)に開通した 第二阪和国道(大谷ランプ～平井ランプ)の整備効果と大型連休 における交通状況をお知らせします。</p> <p>○国道26号(現道)から第二阪和国道へ交通が転換 (大型連休中)</p> <ul style="list-style-type: none">・平成27年9月開通区間の交通量は約12,400台/12h。・国道26号(現道)の交通量は約2割減少。 <p>○大型連休中の国道26号(現道)の交通混雑が解消</p> <ul style="list-style-type: none">・国道26号(現道)梅原交差点の交通混雑が解消。 <p>○国道26号(現道)の安全性が向上(交通事故の減少)</p> <ul style="list-style-type: none">・国道26号(現道)の死傷事故件数が約4～5割減少。 <p>○救急医療活動に貢献</p> <ul style="list-style-type: none">・大規模分譲地(ふじと台)から二次、三次医療施設への搬送時間が短縮。
----	---

取扱い	_____
-----	-------

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ 大阪府政記者会、和歌山県政記者クラブ、 和歌山県地方新聞協会、和歌山県政放送記者クラブ
------	--

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 浪速国道事務所 副所長 <small>こうの</small> 河野 <small>じゅんいち</small> 純一 調査課長 <small>おおにし</small> 大西 <small>けんいち</small> 健一 TEL 072-833-0261(代表)
------	--

国道26号(現道)から第二阪和国道へ交通が転換(大型連休中)

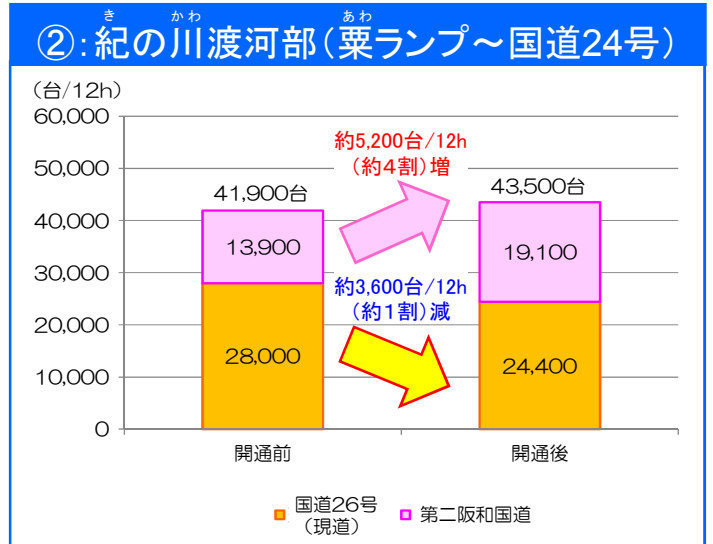
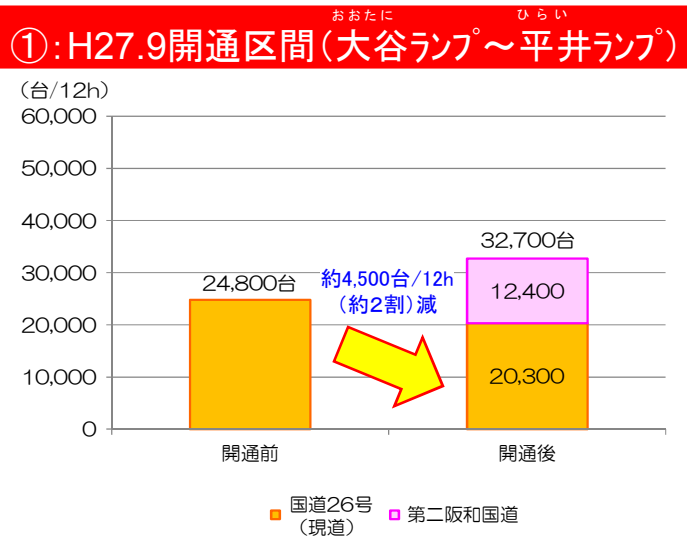
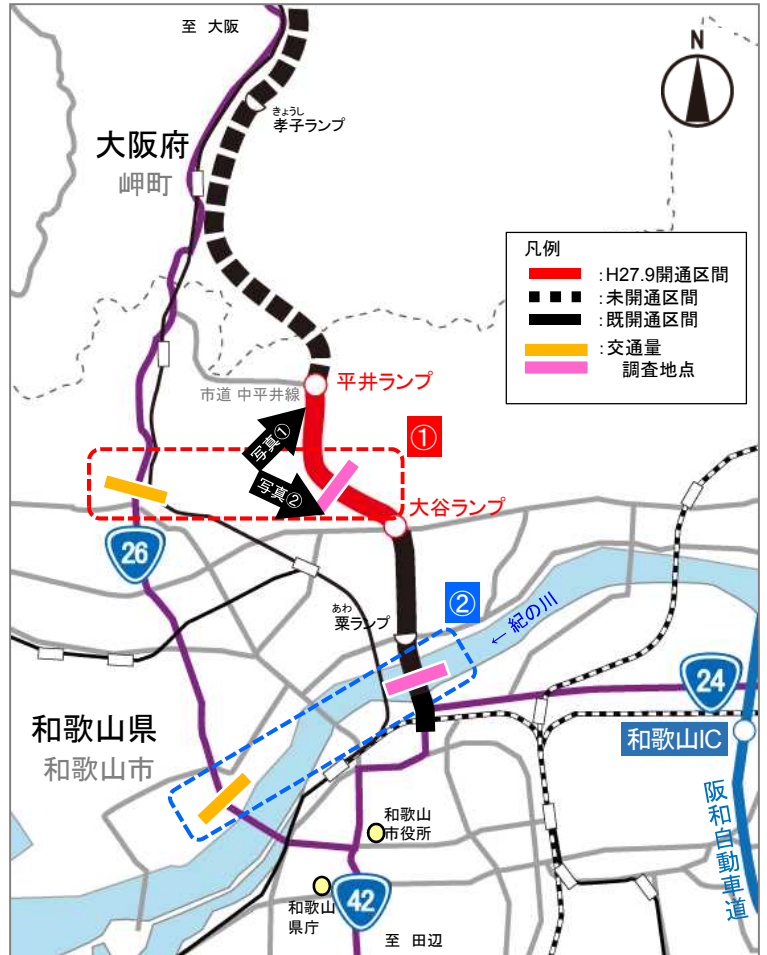
- 平成27年9月に開通した「大谷ランプ～平井ランプ」間は、約12,400台/12h。
- 国道26号(現道)から第二阪和国道への転換により、「大谷ランプ～平井ランプ」間に並行する国道26号(現道)は、約4,500台/12h(約2割)減少。



▲H27.9開通区間 H28.4.26撮影
(大谷ランプ～平井ランプ間:大阪向き)

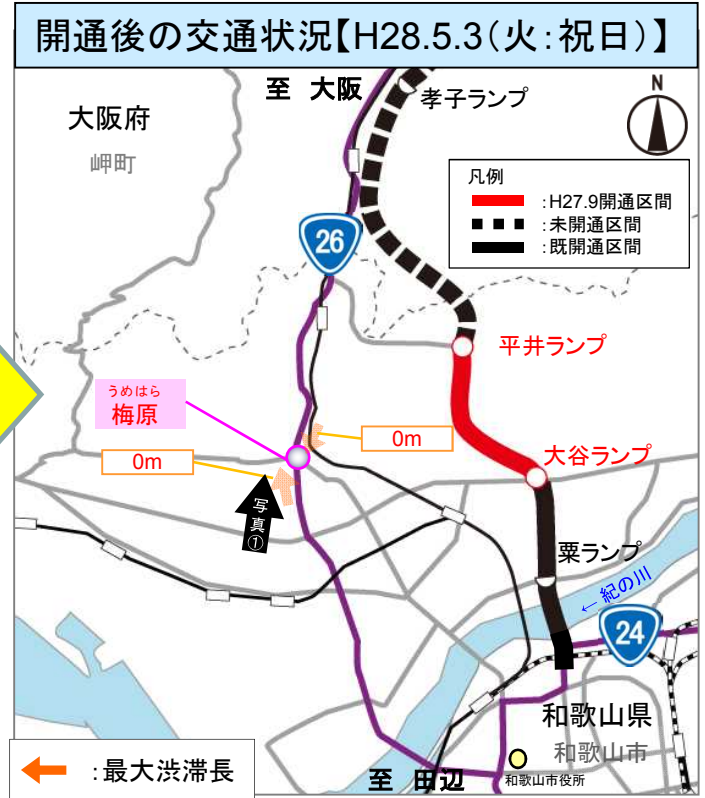
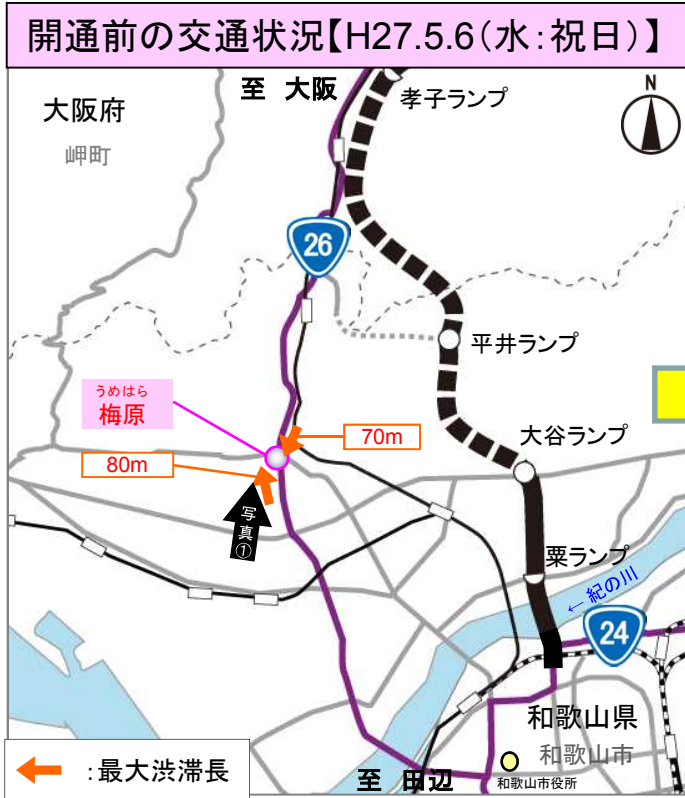


▲H27.9開通区間 H28.4.26撮影
(大谷ランプ～平井ランプ間:和歌山向き)



大型連休中の国道26号(現道)の交通混雑が解消

○国道26号(現道)梅原交差点で発生していた交通混雑について、大阪方面行き、和歌山市内方面行き共に**交通渋滞が解消**。



梅原交差点(大阪方面行き)



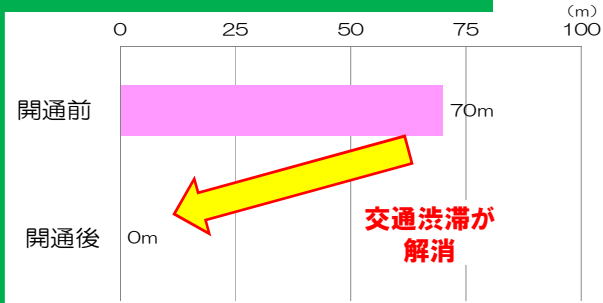
▲H27.9開通区間と並行する国道26号(現道) 梅原交差点大阪方面行き渋滞長の変化

開通前(大阪方面行き)

写真①



梅原交差点(和歌山方面行き)



▲H27.9開通区間と並行する国道26号(現道) 梅原交差点和歌山方面行き渋滞長の変化

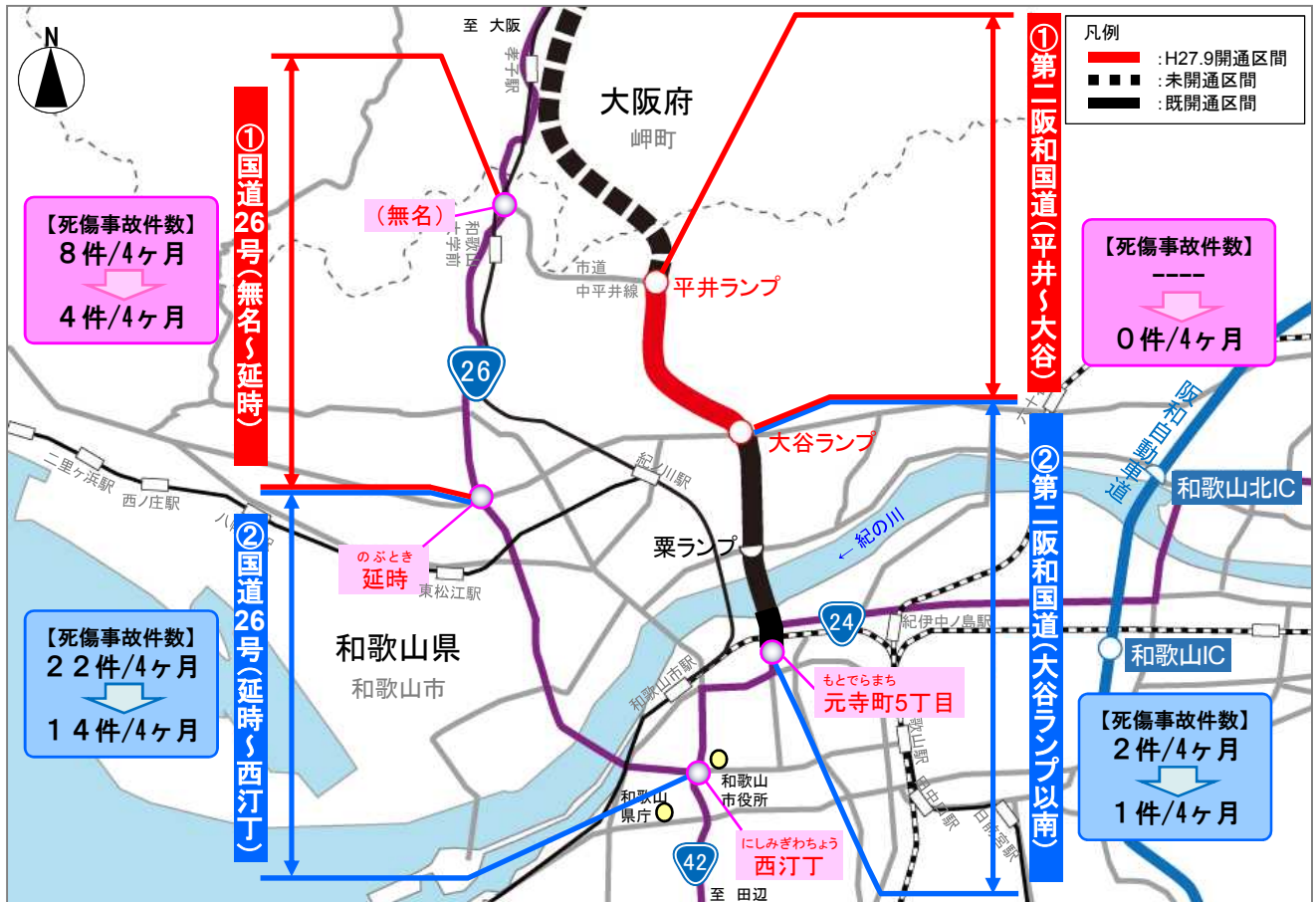
開通後(大阪方面行き)



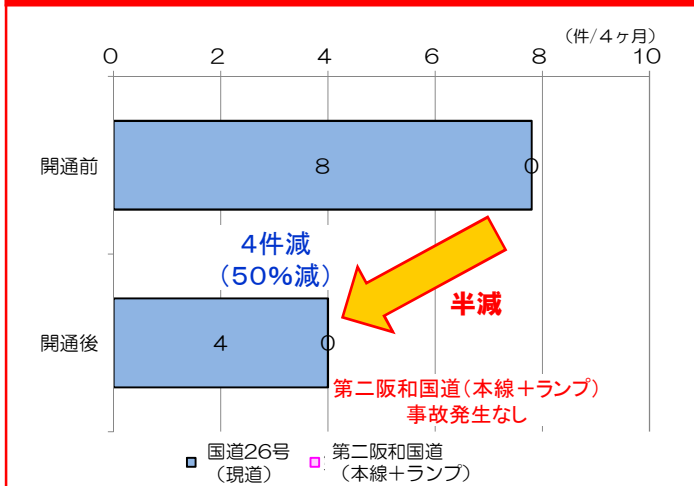
国道26号(現道)の安全性が向上(交通事故の減少)

○平成27年9月開通区間の第二阪和国道と、並行する国道26号(現道)を合わせた死傷事故件数が**半減**し、既開通区間(大谷ランプ以南)と並行する国道26号(現道)を合わせた死傷事故件数が**4割減少**。

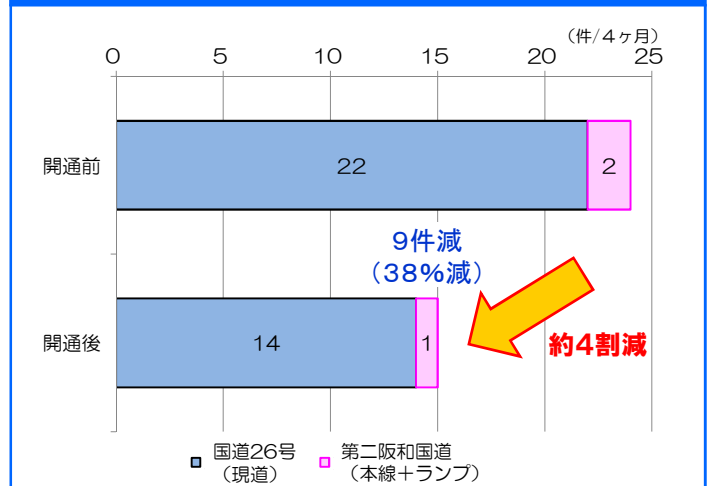
■国道26号(現道)と第二阪和国道の事故件数の変化



①: H27.9開通区間(平井ランプ～大谷ランプ) 及び並行する国道26号(無名～延時)



②: 既開通区間(大谷ランプ以南) 及び並行する国道26号(延時～西汀丁)



出典: イタルダデータ(H22～25)、和歌山県警提供データ(H26～H27)
 開通前: H22～H26の9.13～12.31(5年間の平均値)、開通後: H27.9.13～同12.31

救急医療活動に貢献

- 大規模分譲地「ふじと台」から日本赤十字社和歌山医療センター（三次医療施設）までの搬送時間が**約2割（24分→19分）短縮**。また、中江病院（二次医療施設）までの搬送時間が**約6割（19分→8分）の大幅短縮**。
- 搬送先や時間帯によって国道26号（現道）と第二阪和国道の経路選択が可能に。

■ふじと台から救急医療施設への主な搬送経路と所要時間



※所要時間は、プローブデータより算出
 【開通前】H26.10月～同年12月平日ピーク時平均値、【開通後】H27.10月～同年12月平日ピーク時平均値を使用

第二阪和国道の部分開通により、国道26号（現道）における何キロメートルにも及ぶ大渋滞が緩和され、救急搬送時間も短縮したと感じています。

ふじと台からは、第二阪和国道を利用することで、中江病院や日本赤十字社和歌山医療センターへ搬送する場合の所要時間が大幅に短縮し、特に中江病院へアクセスする場合は劇的に所要時間が短縮しました。

また、搬送先や時間帯、渋滞状況等によって、国道26号（現道）と第二阪和国道を使い分けて搬送することが可能になりました。



▲和歌山市北消防署員



▲和歌山北消防署

【参考】平成27年9月開通区間の概要

○事業概要

第二阪和国道は、大阪府^{ほんなん}阪南市から和歌山県^{わかやま}和歌山市に至る約20.6kmの地域高規格道路であり、国道26号（現道）の慢性的な渋滞解消、急カーブ、急勾配等の解消を図ることと地域の生活環境の向上及び地域活動の発展に寄与する道路として期待されています。

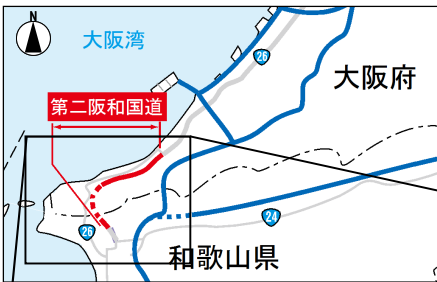
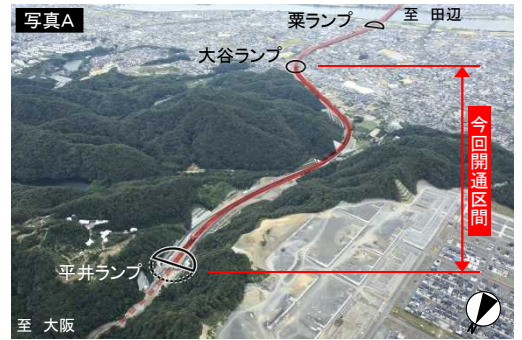
○開通日時：平成27年9月12日（土）16時

○区 間：和歌山県和歌山市大谷^{おおたに}～平井^{ひらい}
（大谷ランプ）（平井ランプ）

○延 長：1.8km

○車 線 数：2車線

○位置図



H27.9開通区間（田辺向き）H28.4.26撮影



H27.9開通区間（大阪向き）H28.4.26撮影

